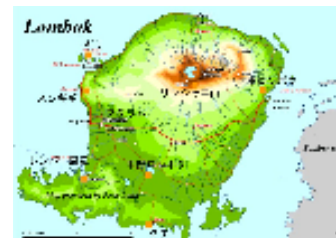


ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第 27 号 2012 年 5 月発行



インドネシアも漸く乾季となってきたようです。晴れは続きますが、湿度が低くなってきますので、朝晩は涼しく、炎天下であっても木陰にいれば涼しく感じられるようになります。

海のレジャーが中心のロンボクにとっては、晴れた青空の下で透き通った海でのさまざまな楽しみ方が待っています。

ロンボクでも特に北西に位置しているギリ3島への訪問がお勧めです。また、この中でも静かでプライベートな海を満喫したい方にはギリ3島の中でも一番静かなギリ・メノが特にお勧めです。

透き通った海で泳いで良し、シュノーケリングをしながら海辺の小魚や熱帯魚を見るのも良し、ダイビングをしながらウミガメやマンタ、大きな魚たちの巨群を見るのも良し、さらにサーフィンやフィッシングにも良し、また海辺のレストランで青い海を眺めて冷たいビールやトロピカル・ジュースでも飲みながら、読書に耽るのも南国の海のリゾートでの楽しみ方です。すべての時間が都会とは違って、ゆったりと動いている気分にくれます。



ギリ3島 左からギリ・トラワング、ギリ・メノ、ギリ・アイル



ギリ・メノの海辺のレストラン風景



ギリ・メノ周辺でのシュノーケリング風景



ギリ・メノ周辺シュノーケリング時の海の中の眺め

インドネシアの乾季は朝晩涼しいので、早朝や夕刻以降の島周辺の散歩も結構楽しめます。以前にもご紹介しましたが、ギリ・メノについていえば、徒歩でも一周 1 時間半程度で回れます。

ロンボク本島に一番近いギリ・アイルも、ギリ・メノとほとんど変わらない大きさなので、同様の時間で回れるかと思いますが、一番大きいギリ・トラワングは徒歩で一周約 2 時間かかると思います。

どの島からも、朝日は東方向のロンボク本島のリンジャニ山方面から昇り、夕日は西方向のバリ島方面へ沈みます。当たり前ですが、太陽は夏至から冬至にかけて、北寄りになったり南寄りになったりします。



ギリ・メノ周辺ダイビング時に撮影したアオウミガメなど



4月ごろ、ギリ・メノから見たサンライズ



6月ごろのギリ・メノ海岸風景



11月ごろ、ギリ・メノから見たサンセット

このロンボクの海の楽園に行つてのんびりしたい方は、少し長めの滞在をお勧めします。滞在費を含めて、一日の費用が驚くほどかからないので、長く過ごせばそれだけお得なのですが、安いということは多少リスクもあるかと思うので、ぜひ個々での事前チェックも怠らないようにお出かけください。

★マリーナ・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca のお問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ